



2025年度高知県立大学 がん高度実践看護師コース

がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師の養成

Final Stage にある がんサバイバーへの支援

募集要項

- 概要** 本コースは、文部科学省令和5年度(がんプロフェッショナル)養成プランに採択された、中国・四国の大学による「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」の事業のなかで高知県立大学が企画するリカレント教育コースです。第4期において本学は、がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師の養成を目的としています。がんサバイバーシップケアとして再発や二次性発がんの予防、長期合併症や晩期障害の管理、健康増進に向けた生活習慣の改善、若年発がん患者の教育・就労・経済状況の社会的問題等、複合的かつ領域横断的な課題に対応する実践力を修得できるように5年間取り組みます。
2025年度は、上記の目的のもと、“Final Stage(人生の終焉の時期)にあるがんサバイバーへの支援”をテーマに、身体機能は低下しても自分の価値観や信念を踏まえた生き方を選択して、最期までその人らしくがんとともに生きるがんサバイバー・家族のニーズや潜在化した課題、アンメットニーズに対応することのできる専門性の高い看護実践力を修得します。
- 履修期間** 2025年9月13日(土).14日(日)、10月4日(土).5日(日)、11月1日(土).2日(日)、12月13日(土).14日(日)
- 開催場所** 高知県立大学池キャンパスよりWeb配信(Zoom)
- 対象** 専門看護師、大学院修士課程修了者、がん看護に関連する認定看護師
- 履修科目** 4単位 60時間(授業科目参照)
- 受講費用** 無料(但し、受講に要する電子機器、通信費等は自己負担とします)

授業科目

科目名	授業の概要
1. がんサバイバー 診断治療学 1 単位 15 時間	Final Stage にあるがんサバイバーのエンドオブライフを支えるために、緩和困難な症状について、医学的視点から理解することにより、患者のアセスメント能力を獲得することを目指す。また、Final Stage の身体的変化に伴う対応方法について理解を深め、看護実践について考察する。 〈達成目標〉 ① Final Stage にあるがんサバイバーの病態と緩和困難な症状について説明できる ② Final Stage にあるがんサバイバーの緩和困難な症状への対応方法について説明できる ③ Final Stage にあるがんサバイバーの病態を見据えて予測的な看護実践について考案することができる
2. がんサバイバー 看護基盤論 1 単位 15 時間	Final Stage にあるがんサバイバーの全人的苦痛についての知識を踏まえ、身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな課題や倫理的課題を理解する。また、がん看護に活用できる概念や理論を理解し、Final Stage にあるがんサバイバーとその家族への看護実践を検討する。 〈達成目標〉 ① Final Stage にあるがんサバイバーとその家族への看護の基盤となる概念や理論、ならびにその活用方法について理解することができる ② Final Stage にあるがんサバイバーとその家族への特徴的な身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな課題や倫理的課題を理解することができる ③ Final Stage にあるがんサバイバーとその家族の特徴的な課題の解決方法について考案することができる
3. がんサバイバー 看護実践論 1 単位 15 時間	Final Stage にあるがんサバイバーの全人的苦痛の理解を踏まえ、エンドオブライフの質の向上につながる看護実践を学修する。また、Final Stage にあるがんサバイバーを支える社会の様々な取り組みについて学修する。 〈達成目標〉 ① Final Stage にあるがんサバイバーの全人的苦痛や療養の場の特徴を踏まえ、家族も含め包括的にアセスメントできる ② Final Stage にあるがんサバイバーの特徴や課題を理解し、看護ケアを提案することができる ③ Final Stage にあるがんサバイバーと遺族に対する社会的な支援を理解し、質の高い看護を考案できる ④ Final Stage にあるがんサバイバーを支える保健医療福祉に携わる人々への支援を考案することができる
4. がんサバイバー 看護展開論 1 単位 15 時間	科目 1～3 の学習を踏まえて、高度な看護実践を展開できる能力を獲得し、Final Stage にあるがんサバイバーに対する看護援助を考える。 〈達成目標〉 ① 緩和困難な苦痛を抱える Final Stage にあるがんサバイバーに対する看護援助を考案することができる ② 難渋する苦痛を抱えるがんサバイバーに対する多職種協働による支援を考案することができる ③ Final Stage にあるがんサバイバーと家族のエンドオブライフの質の向上を目指した看護について説明できる

日程表

日程	時間	講義内容	講師
9月13日 (土)	12:30- 14:00	オリエンテーション 1. APN コースオリエンテーション 2. Final Stage にあるがんサバイバー	青木早苗 (高知県立大学大学院看護学研究科教授) 藤田佐和 (高知県立大学大学院看護学研究科特任教授)
	14:10- 15:40	1.がんサバイバー診断治療学 Final Stage に出現しやすい苦痛症状のメカニズムと 対応(病態生理・メカニズム・対応策・課題) ・疼痛	成木勝広 (四国がんセンター緩和ケアセンター)
	15:50- 17:20	・食欲不振、悪液質症候群、下痢・便秘など	勝島詩恵 (関西医科大学呼吸器腫内科)
9月14日 (日)	9:00- 10:30	・呼吸困難	村上あきつ (香川大学医学部附属病院がんセンター)
	10:40- 12:10	・皮膚障害	平川聡史 (聖隷浜松病院 支持医療科)
	13:00- 14:30	・せん妄	井上知謙 (四国がんセンター緩和ケア科)
	14:40- 16:10	Final Stage にあるがんサバイバーの緩和困難な症状に 使用する薬剤の知識(薬物動態と対応策・課題・管理)	藤井良平 (関西医科大学附属病院薬学部 がん専門薬師)
10月4日 (土)	13:00- 14:30	2.がんサバイバー看護基盤論 Final Stage にあるがんサバイバーの看護実践に有用な 概念や理論 ・死生学(死生観)と看護	西平直 (上智大学グリーンケア研究所所長)
	14:40- 16:10	・ケアリングと看護ケア	平田佳子 (倉敷中央病院 がん看護専門看護師)
	16:20- 17:50	・意思決定と看護ケア(アドバンスケアプランニング 含む)	田代真理 (高知県立大学看護学部准教授 がん看護専門看護師)
10月5日 (日)	9:00- 10:30	・スピリチュアリティと看護ケア(スピリチュアルペイン、 スピリチュアルケア)	田村恵子 (大阪歯科大学大学院 がん看護専門看護師)
	10:40- 12:10	・悲嘆理論と看護ケア(家族を中心に)	高山良子 (神戸市看護大学 がん看護専門看護師)
	13:00- 14:30	Final Stage にあるがんサバイバーの特徴的な課題と 解決方法 ・がんの補完代替療法と看護ケア(リラクゼーション・ マッサージ・アロマセラピーなど)	前澤美代子 (山梨県立大学看護学部 がん看護専門看護師)
	14:40- 16:10	・Final Stage に特徴的な倫理的課題と対応	北添可奈子 (高知医療センター がん看護専門看護師)

11月1日 (土)	13:00- 14:30	3. がんサバイバー看護実践論 Final Stage のがんサバイバーと家族の全人的アセスメントと看護ケア ・Final Stage にある人とのコミュニケーション	佐々木千幸 (国立がん研究センター中央病院 精神看護専門看護師)
	14:40- 16:10	・Final Stage のがんサバイバーの希望を支える	弘末美佐 (高知大学医学部附属病院 がん看護専門看護師)
	16:20- 17:50	・Final Stage のがんサバイバーの家族へのケアと遺族へのケア	前滝米子 (関西医科大学看護学部 がん看護専門看護師)
11月2日 (日)	9:00- 10:30	・Final Stage のケア提供者へのこころのケア	高野純子 (藤沢相南台病院 がん看護専門看護師)
	10:40- 12:10	Final Stage における多職種協働によるケア ・Final Stage のがんサバイバーに対するがんリハビリテーション	田尻寿子 (静岡県立静岡がんセンター 作業療法士)
	13:00- 14:30	・Final Stage のがんサバイバーに対する食べることへの支援・栄養管理	十萬敬子 (高知医療センター がん病態栄養専門管理栄養士)
	14:40- 16:10	・Final Stage のがんサバイバーに対する療養移行支援	太田多佳子 (松山ベテル病院医療相談室・地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー)
12月13日 (土)	13:00- 17:50	4. がんサバイバー看護展開論 ・受講生が困難を感じた事例について、既習の知識や理論を活用した看護実践や体制づくりについて考える ・グループワーク	青木早苗(看護学研究科教授) 藤田佐和(看護学研究科特任教授) 田代真理(看護学部准教授) 廣瀬未央(看護学部助教) 山西亜紀子(看護学部特任助教)
12月14日 (日)	9:00- 14:30	・事例の看護展開 ・全体の共有 ・まとめ	
	14:40- 15:10	修了式、アンケート	青木早苗 (高知県立大学大学院看護学研究科教授)

9. 修了要件

- ・コースで定める 60 時間のうち各科目 8 割以上履修すること。
修了要件を満たした者には、高知県立大学からの「コースを修了したことの証書」を交付します。

10. 受講申請に関すること

1) 受講条件

- ・全コース(4 科目 60 時間)受講できる方

2) 募集スケジュール

- ・2025 年 6 月 16 日(月)～ 募集開始 受講申請書(所定様式)の提出
2025 年 7 月 25 日(金) 募集締め切り
- ・2025 年 9 月 13 日(土) 開講日

3) 申請手続

(1) 提出書類

- ・受講申請書(項目は募集要項の最後のページをご参照ください)

(2) 提出方法

- ・二次元バーコード、または下記の URL からお申込みください。
<https://forms.office.com/r/gHM91hniK>



11. 個人情報の取り扱い

- ・提出された申請書等に記載された個人情報は、責任を持って管理します。

12. 参加にあたっての連絡・注意事項

【Zoom 開催について】

- ・Zoom を利用してのオンライン講義となります。配信は当日のみです。
(本コース各講義の URL、ミーティング ID やパスコードを無断転載・共有はご遠慮下さい。)
- ・ご講義受講前に、Zoom アプリが最新版に更新されているかご確認ください。
- ・パソコン・タブレット・スマートフォンいずれからでも受講いただけますが、映像・画像・音声の大量データ通信となり通信が途絶える場合があるため安定したインターネット環境下での受講をおすすめいたします。
- ・Zoom での講義は、通信時間 1 時間でデータ通信消費量は約 600～700MB と見込まれます。Zoom の利用料金は無料ですが、参加に要する機器・通信料等は、参加者各自のご負担となります。
- ・本コースの各講義における、機器や通信の不具合、受講できない場合等につきましては、一切責任を負いかねます。Zoom に関しては、下記の URL をご参照ください。

Zoom ホームページ <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

Zoom ヘルプセンター <https://support.zoom.us/hc/ja>

【本コースの注意事項について】

- ・本コースでは、肖像権、知的財産権、個人情報保護等を遵守する観点から、録画・録音・画像保存等はご遠慮ください。
- ・詳細は、参加申込み後、受講決定通知とともにお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

高知県立大学大学院看護学研究科 青木 早苗
〒781-8515 高知県高知市池 2751-1
E-mail: ganapn23@cc.u-kochi.ac.jp

受講申請書

ふりがな 氏名		看護師経験年数	年
資格	☐ 専門看護師（専門分野：） ☐ 認定看護師（専門分野：） ☐ その他（）		
所属施設	施設名： 住所：〒 TEL：		
修了証書郵送先	＊修了要件を満たした者に、高知県立大学からの「コースを修了したこと証書」を交付しますので、ご希望の郵送先を選択してください。自宅の場合は住所を記入してください。 ☐ 所属施設(住所：同上) ☐ 自宅：〒		
緊急連絡用の電話番号			
メールアドレス	＊資料など容量の大きなものでも対応できるPCメールをご記入願います(gmail など)		
受講動機	＊300～500文字でご記入ください		

6